

第70期

報 告 書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで



営業の概況

当事業年度のわが国経済は、年度前半において円高に推移するなど先行き不透明感が漂ったものの、政府による経済政策の継続や日銀の金融緩和等を背景として雇用情勢や企業収益に改善がみられ、緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況のもと、当社は将来の柱となる製品の創出・育成・発展に向けて、海外展開のためのマーケティング活動を精力的に取り組むなど開発力および販売力を高め、ホームページの刷新やプレスリリースによる情報発信を強化するなど積極的な事業活動に努めてまいりました。

製品の販売状況につきましては、自動車関連向け分野や新たなICT（Information and Communication Technology）市場に関連する資材の販売が好調に推移いたしました。一方では、当事業年度前半における円高の影響や価格競争の激化が進むフレキシブル銅張積層板「ユピセルN」の販売が落ち込みました。また、合成繊維製品の需要が伸長し販売は増加したものの、原材料価格下落の影響を受けた製品価格の改定により、売上が減少いたしました。その他の製品につきましては、製品ごとに増減の大小はあるものの、総じて堅調に推移いたしました。

この結果、当事業年度の売上高は127億3千9百万円（前事業年度比2.1%増）、経常利益が7億7千4百万円（前事業年度比38.2%増）、当期純利益は5億5千1百万

円（前事業年度比68.4%増）と増収増益となりました。

【電子・情報材料部門】

当部門の売上高は、28億9千8百万円（前事業年度比6.4%減）となりました。

光通信ケーブル用資材「ラセンコンポーズ」は、国内における光ファイバーケーブルの新規敷設が一巡し市場の縮小が進んでおりますが、当事業年度は通信トラフィックの大容量化への対応からデータ通信量の拡大に伴う設備投資需要が伸長したことにより、売上高は前事業年度を上回りました。

光通信ケーブル用資材「コンポーズテンションメンバー」は、FTTH（Fiber To The Home）新規加入者数が飽和状態にあり国内需要の停滞が続き、総じて低調に推移し、売上高は前事業年度を下回りました。引き続き、新たな用途やグレードの開発を推進してまいります。

高純度シリカ微粒子「ハイプレシカ」は、高機能樹脂充填剤用途の販売が低迷したものの、市場の拡大が進む有機ELディスプレイ向け副資材用途の需要伸長などにより、売上高は前事業年度を上回りました。

フレキシブル銅張積層板「ユピセルN」は、事業年度前半における円高の影響に加えて海外市場における価格競争の激化などにより、売上高は前事業年度を大幅に下回りました。しかしながら、前事業年度より販売を開始いたしました液晶ポリマーフィルムをベースとしたフレ

キシブル銅張積層板「エクシラムL」およびポリイミド・ステンレス積層基板「ユピセルC」の販売は伸長し、売上高は前事業年度を大幅に上回りました。今後もこれらラミネート技術を生かした差別化商品の販売と更なる技術開発に努め、競争力を高めてまいります。

【機能樹脂製品部門】

当部門の売上高は37億3千8百万円（前事業年度比5.9%増）となりました。

FRP製品は、土木建築分野における労働力不足の影響や安全意識の高まりにより、軽量化および絶縁特性に優れた特長をもつ足場材用途の販売が大幅に伸長いたしました。また、海苔養殖支柱用途においては、買い替え需要の取り込みに努めた結果、売上高は前事業年度を上回りました。

中空構造フィルム「サニーコート」は、窓用フィルム向けの販売が安価な類似品の台頭と暖冬の影響により需要が低迷し、売上高は前事業年度を下回りました。今後は柔らかな中空フィルムの特長を生かして、産業用途などの新たな需要掘りおこしに努めてまいります。

高機能チューブは、緩やかな景気回復を背景に主用途である産業機械向け用途の販売が好調に推移した結果、売上高は前事業年度を上回りました。

ロープ原糸「ダンライン」は、前事業年度の度重なる天候不順による特需の収束により、売上高は前事業年度

を下回りました。

【繊維・産業資材部門】

当部門の売上高は61億2百万円（前事業年度比4.2%増）となりました。

複合繊維「UCファイバー」は、日用品用途の販売好調と衛生材料用途における日本製品に対する信頼感から新興国での需要が堅調に推移したことにより、販売数量は増加いたしました。しかしながら、原材料市況の価格低下に伴う、販売価格の是正を行ったことにより、売上高は前事業年度を下回りました。また、ニッケル水素電池向けの高強度ポリプロ繊維「シムテックス」は、自動車向け販売が伸長し、売上高は前事業年度を上回りました。

プラスチックダンボール「ダンプレート」は、自動車向け物流資材用途の販売において、モデルチェンジに伴う需要の取り込みに努めたことに加えて、自動車部品用途の採用車種拡大に注力したことにより、売上高は前事業年度を大幅に上回りました。

中空ハニカム構造板「ツインコーン」は、積極的な販売促進活動により、訴求力の強化や用途開拓に努めた結果、物流資材用途などの販売が大幅に増加し、売上高は前事業年度を大きく上回りました。引き続き、中核事業とするべく更なる品質の向上や軽量で高剛性などの特長を生かした差別化を推し進め、拡販に努めてまいります。

貸借対照表

(単位：千円)

資 産 の 部		
科 目	当 期 (平成29年3月31日現在)	前 期 (平成28年3月31日現在)
流 動 資 産	10,397,262	9,950,804
現金及び預金	1,623,400	1,249,632
受取手形	858,465	636,707
売掛金	3,718,931	3,759,053
商品及び製品	1,051,598	1,149,231
仕掛品	192,228	232,164
原材料及び貯蔵品	498,665	584,500
前払費用	12,919	12,826
繰延税金資産	149,312	125,633
未収入金	151,243	69,514
預け金	2,128,427	2,124,420
その他	14,069	10,699
貸倒引当金	△ 2,000	△ 3,581
固 定 資 産	6,613,076	6,264,274
有形固定資産	4,506,575	4,176,864
建物	1,211,743	953,869
構築物	84,407	83,374
機械及び装置	1,365,246	1,384,936
車輛運搬具	3,222	720
工具、器具及び備品	113,009	92,068
土地	1,453,218	1,453,218
リース資産	14,464	10,304
建設仮勘定	261,262	198,372
無形固定資産	37,202	42,065
ソフトウェア	30,554	35,417
電話加入権	6,647	6,647
投資その他の資産	2,069,298	2,045,344
投資有価証券	245,424	202,397
関係会社株式	40,000	40,000
関係会社出資金	1,102,014	1,102,014
長期貸付金	2,744	6,963
長期前払費用	10,114	16,390
繰延税金資産	575,377	584,399
敷金及び保証金	47,573	48,259
その他	54,749	53,619
貸倒引当金	△ 8,700	△ 8,700
資 産 合 計	17,010,339	16,215,078

(単位：千円)

負債の部		
科目	当期 (平成29年3月31日現在)	前期 (平成28年3月31日現在)
流動負債	3,324,150	3,036,909
買掛金	1,807,282	1,853,575
短期借入金	—	60,000
リース債務	5,108	3,468
未払金	827,845	606,318
未払費用	135,761	88,121
未払法人税等	219,056	151,971
未払消費税	100,475	66,875
預り金	23,295	20,782
賞与引当金	205,326	185,795
固定負債	2,253,858	2,127,088
リース債務	10,575	7,762
退職給付引当金	1,904,349	1,797,227
役員退職慰労引当金	33,450	22,805
資産除去債務	39,299	38,419
長期預り保証金	266,183	260,874
負債合計	5,578,008	5,163,997
純資産の部		
株主資本	11,307,061	10,956,527
資本金	2,492,500	2,492,500
資本剰余金	1,725,000	1,725,000
資本準備金	1,725,000	1,725,000
利益剰余金	7,089,561	6,739,027
利益準備金	368,088	368,088
その他利益剰余金	6,721,473	6,370,938
特別償却積立金	—	12,225
固定資産圧縮積立金	39,272	5,672
別途積立金	3,500,000	3,500,000
繰越利益剰余金	3,182,200	2,853,041
評価・換算差額等	125,269	94,553
その他有価証券評価差額金	125,269	94,553
純資産合計	11,432,331	11,051,081
負債・純資産合計	17,010,339	16,215,078

損益計算書

(単位：千円)

科 目	当 期 (平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで)	前 期 (平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで)
売 上 高	12,739,360	12,482,522
売 上 原 価	9,187,231	9,319,689
売 上 総 利 益	3,552,129	3,162,833
販売費及び一般管理費	2,864,592	2,658,333
営 業 利 益	687,536	504,499
営 業 外 収 益	162,339	75,390
受取利息及び配当金	13,297	11,760
その他の営業外収益	149,041	63,630
営 業 外 費 用	75,770	19,781
支 払 利 息	168	953
その他の営業外費用	75,602	18,827
経 常 利 益	774,105	560,108
特 別 利 益	—	39,202
投資有価証券売却益	—	39,202
特 別 損 失	—	50,880
固定資産処分損	—	19,586
その他特別損失	—	31,293
税引前当期純利益	774,105	548,430
法人税、住民税及び事業税	249,339	136,418
法人税等調整額	△ 26,967	84,452
当 期 純 利 益	551,734	327,559

株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	株 主 資 本					
	資本金	資本剰余金	利 益 剰 余 金			
		資 本 準 備 金	利 益 準 備 金	そ の 他 利 益 剰 余 金		
			特別償却積立金	固定資産圧縮積立金	別 途 積 立 金	
平成28年4月1日残高	2,492,500	1,725,000	368,088	12,225	5,672	3,500,000
事業年度中の変動額						
固定資産圧縮積立金の積立					35,489	
固定資産圧縮積立金の取崩					△1,888	
特別償却積立金の取崩				△12,225		
剰余金の配当						
当期純利益						
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)						
事業年度中の変動額合計				△12,225	33,600	
平成29年3月31日残高	2,492,500	1,725,000	368,088	-	39,272	3,500,000

(単位：千円)

	株 主 資 本			評価・換算差額等	純資産合計
	利 益 剰 余 金		株主資本合計	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	
	その他利益剰余金	利益剰余金合計			
	繰越利益剰余金				
平成28年4月1日残高	2,853,041	6,739,027	10,956,527	94,553	11,051,081
事業年度中の変動額					
固定資産圧縮積立金の積立	△35,489	-	-		-
固定資産圧縮積立金の取崩	1,888	-	-		-
特別償却積立金の取崩	12,225	-	-		-
剰余金の配当	△201,200	△201,200	△201,200		△201,200
当期純利益	551,734	551,734	551,734		551,734
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)				30,715	30,715
事業年度中の変動額合計	329,159	350,534	350,534	30,715	381,250
平成29年3月31日残高	3,182,200	7,089,561	11,307,061	125,269	11,432,331

会社の概況（平成29年3月31日現在）

■商 号 宇部エクシモ株式会社

■設 立 昭和41年2月22日

■資 本 金 24億9,250万円

■発行済株式総数 25,150千株

■主要な事業内容

電子・情報材料 部 門	ラセンコンポーズ（光通信ケーブル用資材） コンポーズテンションメンバー（光通信 ケーブル用資材） ハイプレシカ（液晶ディスプレイ用スペーサー） ユピセルN（フレキシブル銅張積層板） ユピセルC（ポリイミド・ステンレス積層材） エクシラムL（液晶ポリマー基材） その他情報材料、電子材料の製造、加工、販売
機能樹脂製 品 部 門	ダンポール（農業用FRP支柱） コンポーズパイプ（水産用FRP支柱） コンポーズバタ・足場材（建築・仮設資 材用FRPパイプ） サニーコート（中空構造フィルム） 高機能チューブ（産業機械用等各種チューブ） フィルター（エアフィルター） ダンライン（水産・船舶用ロープ原糸） その他機能樹脂製品の製造、加工、販売
繊維・産業資材 部 門	UCファイバー（紙おむつ等衛生材料用複合繊維） シムテックス（電池セパレーター用繊維、 コンクリート剥落防止用メッシュ） ポリプロ繊維（カーペット・フィルター用原糸） シムロック（コンクリート用補強繊維） ダンプレート（プラスチックダンボール） ツインコーン（中空ハニカム構造板） その他機能繊維製品、産業資材の製造、 加工、販売

■事業所

本 社 〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町9番19号
大阪支店 〒530-0003 大阪市北区堂島1丁目6番20号
営業所 名古屋営業所（名古屋市東区）
福岡営業所（福岡市中央区）
宇部営業所（山口県宇部市）
工場 岐阜工場（岐阜県岐阜市）
福島工場（福島県郡山市）
研究所 中央研究所（岐阜県岐阜市）
先端繊維研究所（福島県郡山市）

■従業員数 319名

■ホームページアドレス <http://www.ube-exsymo.co.jp>

役員（平成29年6月20日現在）

代表取締役社長	小塚健次	※社長執行役員	小塚健次
取締役	高橋俊充	※常務執行役員	高橋俊充
取締役	泉原雅人	常務執行役員	井田洋治
常勤監査役	内藤憲一	常務執行役員	山下隆之
監査役	重枝誠一	執行役員	石井徳
		執行役員	安村守人
		執行役員	仲山典宏
		執行役員	高田隆久

（注）※は取締役との兼務を示しています。